

キャラクター名
桐恵愛

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	アーティスト	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	18歳	性別	女性
覚醒	償い	衝動	妄想	初期侵食率	32	%
出自	安定した家庭	経験	大きな転機	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	1	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達		
運転:			芸術: 文学	2		知識:			情報: ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
咎人の剣	白兵	11r		39		一二三
咎砕き	白兵	12r		63		一二三四五(100以上)
	白兵	13r		72		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル	
制服	
携帯電話	
思い出の一品	
コネ: 噂好きの友人	
救急セット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
D: 守護者	P	N		
あの人	P 純愛	N 悔悟		
もう一度、あの時に	P 執着	N 不安		
かしんくん	P 信頼	N 猜疑心		
アイリス	P 友情	N 不信感		
坂上	P 尊敬	N 悔悟		
リカルト	P 好意	N 不安		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CI:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv							
カスタマイズ	5	2	白兵射撃					
効果:								
咎人の剣	5	4	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	攻撃力+Lv*5							
創造の御手	3	3	メジャー			シンドローム	ピュア	
効果:	D+5 シナリオLv回							
クリスタライズ	5	4	メジャー			シンドローム	80	
効果:	攻撃力+Lv*3 装甲値無視 シナリオ3回							
インフィニティウェポン	7	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	攻撃力Lv+7の武器を作成							
スーパーランナー	1	1	マイナー					
効果:	戦闘移動							
壁抜け	★							
効果:								
文書偽造	★							
効果:								
万能器具	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

私は死にたかった。私は生き長らえた。
数ヶ月前、入学式を間近に控えた日にトラック事故に巻き込まれかけた少女。彼女と共に巻き込まれた少年、彼の手が背中を押したことで、彼女は轢かれることなく一命を取り留めた。彼は、彼女を庇い死んだ。
ドナー提供をする意思はあった。登録もしていた。けれど、彼はそんな彼女の意思など知らずに逝ってしまっ。自身の為に死んだ彼を思いながら、何処か現実感の無い学校生活を送っている。

【願い】
願いはトラック事故のあの日をやり直すこと。時間を巻き戻すこと。自分に命をくれた彼、自身の背を押した彼の手を取り、その進路から弾き出す。例えば自身が巻き込まれたとしても、命に代えても彼を救う。そのために。

【公開用】
春、私の心は希望に満ち溢れていました。
私の名前はレディー・コーデリア・フィッツジェラルド、鳥の濡れ羽に似たブルネットに象牙みたいな白い肌、頬に仄かな薔薇色を乗せてスミレ色の瞳を星のように輝かせる少女。そんな姿を夢見憧れながら過ごす可愛らしい女の子が主人公のあのシリーズを就寝前に読み進める内に私、風浦カフカ(P.N)の高校生活も遂に三年目。卒業を目前に控えて花の女子高生生活も残り数ヶ月。楽しかった運動会、楽しかった修学旅行、楽しかった文化祭。桜色の入学式から始まって、友達、先生、関わった沢山の人間。もしあの人が此処に居たならば同じように楽しい日々を過ごしたのかしら？
並ぶ桜の木と穏やかな風、時折強く吹く風が道に落ちた花弁たちを捲き上げて空に舞い上げ中、私達は歩いていて——嗚呼大変！
早く家を出ないとホームルームに間に合わないわ！ 朝一番のお祈り、今日を迎えられたことに感謝した後、キツネ色のトーストにマーガリンとジャムを塗って……あら、赤と白で桜色。まだ春まで随分あるので今日は何だか桜に縁のある日だわ。トーストを口に咥えて、鏡の前で髪を整えて。小物入れから取り出したお気に入りのヘアピンと、そうそうカードで少し膨らんでいる財布も忘れないようにしないと。もし忘れたら万が一の時にとても困ってしまうから。鞆の中の教科書やノート、執筆中の小説の、原稿の重み確かめながら靴を履いて外に出れば澄んだ青空と風の香り。晴れ渡る空と柔らかな土、鳥や草木のさざめく音。何処か遠巻きに眺めているように現実感が無いけれど、それでも掛け替えの無い幸福な生を謳歌する、私の前に。彼は現れたのです。